

2024年度
麗澤・地域連携実習
成果報告書

麗澤大学

地域連携センター

目次

()内は連携先

1. 若者の自殺予防を考える(柏市・福祉政策課)……………p1
2. 若者世代から見た柏市子育て施策について(柏市・子ども政策課)……………p3
3. 市史刊行物の活用について(柏市・文化課)……………p5
4. 自然環境と生物多様性の保全について(柏市・環境政策課)……………p7
5. 麗澤大学近くのカフェ経営(カフェジンニョ)……………p9
6. 公共交通空白不便地域の対応について(柏市・交通政策課)……………p19
7. ホテル・ザ・ルクソー南柏の利用客を増やそう!

(グランパークホテル・ザ・ルクソー南柏)……………p21
8. 廃校再生プロジェクト:スポーツで地域の活性化

(麗澤校友会&麗大麗澤会)……………p26

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	自殺予防を考える 若年層に向けた自殺予防とゲートキーパーの普及			
連携先 企業名・部局名	柏市役所 福祉部 福祉政策課 (協力:麗澤大学学生相談センター 吉原 啓カウンセラー)			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの氏名を記入ください。	1	瀧本 陽向	11	櫻畠 柊
	2	小竹 しずく	12	田中 利來
	3	広瀬 澄美	13	手塚 悠月
	4	小川 竜之介	14	片山 拓己
	5	大里 優斗	15	山本 艶恵
	6	大野 幸一	16	宮本 俐沙
	7	河村 翼	17	
	8	倉持 風雅	18	
	9	宇賀 さくら	19	
	10	大野 真華	20	
担当教員名	大野 正英			
活動スケジュール 概要	12月6日 第1回ミーティング 12月13日 第2回ミーティング 12月19日 柏市役所 福祉課インタビュー 12月24日 麗澤大学 吉原啓カウンセラーインタビュー 1月10日 第3回ミーティング 1月31日 第4回ミーティング 2月4日 吉原 啓カウンセラーからのフィードバック 2月14日 柏市福祉課からのフィードバック			
テーマ概要	私たちは若年層を対象としたゲートキーパー教育の普及について考えました。また、具体的な対策として「学校でのゲートキーパー授業の実施」と「相談窓口のポスター掲示による周知」を提案しました。			
調査内容	柏市の自殺予防施策 ・ゲートキーパー講義（高齢者中心、若年層・親世代の普及が課題） ・ゲートキーパー手帳（相談の聞き方や兆候の情報提供） 麗澤大学の取り組み ・先生方による朝の挨拶活動 ・学生相談室の交流イベント（クリスマス、シャボン玉など） ・学生相談室での相談内容は人間関係・学業など、多い時期は4～5月、9月、年末年始、3月			

<p>先方への 提案内容</p>	<p>1, ゲートキーパー授業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：中学校・高校 ・実施方法：総合学習や道徳の授業内で半年に1回程度実施 ・目的：相談文化の定着、相談のハードルを下げる <p>2, 相談窓口の周知（ポスター掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示場所：学校の廊下、大学の共用スペースなど ・目的：相談窓口の認知を高め、必要なときに利用しやすくする
<p>連携先からの フィードバック</p>	<p>吉原啓カウンセラーからは認知を広めるために表現を修正し、行動を促す内容や QR コードの追加などの検討の指示を受けました。またこの活動をその場限りのものではなくこれからも続けてほしいとの言葉もいただきました。</p> <p>柏市役所福祉課の方々からはポスターのターゲットに合わせた工夫を良いと感じてもらえ、柏市との連携の可能性が広がり、実際の施策に繋がる動きとして期待されました。授業にロールプレイやゲームを取り入れる提案も、文化を変える視点として評価していただきました。</p>
<p>所感・まとめ</p>	<p>今回の調査を通じて、若年層への自殺予防施策として、ゲートキーパー教育と相談窓口の普及が重要であると感じました。柏市では自殺予防に関する施策が豊富に実施されていますが、実際にゲートキーパーを担う人は高齢層が中心であるため、若い世代の関与が少ないと感じたり、話を聞く知識を身につける場が限られていることも課題であるなど、若者が相談対応を学ぶ機会を増やすことが重要だと考えます。</p>
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<p>作成したポスター</p>  <p>報告用スライド</p> <p>1.若者の自殺予防を考える.pdf</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1e1iEvmU0ABCV7NDMy2dDrh98Ln901k9p/view?usp=drive_link</p>

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	「若者世代から見た柏市子育て施策」について			
連携先 企業名・部局名	柏市こども部こども政策課（企画政策担当 渡部様 坪山様）			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの氏名を記入ください。	1	萩澤 優哉	5	浅見 玲史
	2	大野 シーナメイ	6	飯田 萌
	3	島田 蒼大	7	川瀬 渚咲
	4	高橋 響生	8	木内 明輝
担当教員名	小高 新吾			
活動スケジュール 概要	<p>○ 実習期間中、毎週火曜日の昼休憩に学内ミーティング</p> <p>10/28: 初回学内ミーティング</p> <p>11/5: 柏市役所往訪（こども政策課とのミーティング）</p> <p>11/19: 柏市こども政策課とオンラインミーティング</p> <p>12/17: 学内アンケート調査開始</p> <p>01/24: 学内アンケート調査終了</p> <p>02/04: 柏市に中間成果報告</p> <p>02/17: 全体成果報告会</p>			
テーマ概要	<p>○ 学内のアンケート調査などを行い、若者世代の柏市の子育て施策に関する認知度や既存施策の将来利用意向を調査するとともに、学生同士が意見を出し合い、自分たちで考えた新たな子育て支援策を柏市に提案する。</p>			
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市役所訪問 ・ 柏市役所とのオンラインミーティング ・ 学内アンケート調査 ・ 毎週火曜日昼休憩でのミーティング 			
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代向け地域コミュニティ活性化プログラムの広報活動 ・ オンライン育児支援サービス 			
連携先からの フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明内容・構成とも、伝わりやすいものであった。 ・ 現に子育てを行っている世代に関しては、良く調査を行っているが、今回の報告を通じ若者世代の考え方が良く分かり、特に行政に関するオンラインサービスの充実を目指していく点は若者らしく有用な提言である。 ・ 将来不安の問題として、経済面と環境面を指摘するのは、柏市で実施した子育て世帯に対する調査結果と共通している。その意味 			

	<p>で、子育てに関する課題は広い世代に共通するものと認識した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、本連携講座に関する柏市の公式インスタグラムでの報告に関しては、こども家庭庁から「いいね」を頂いた。これは大変珍しいことで、市役所サイドとしても励みになった。
<p>所感・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で様々な意見を出し合いながら、協力し合い有意義な時間を過ごせた。 ・学内アンケート調査を実施し、若者世代の視点を取り入れた提案を柏市役所の方に直接報告できたことは貴重な経験になった。 ・柏市役所の方から「若者世代ならではの提案」との評価を頂いた。今後の政策に少しでも役立てれば嬉しく思う。
<p>その他 成果物・画像等 *添付可</p>	<p>(学内アンケート調査)</p> <p>https://docs.google.com/forms/d/16G-kIMreQJGhOx0ZIKhZ_Kr8140sMue2eNE4QM3cMuw/edit</p> <p>(柏市役所とのミーティング)</p>   <p>(全体成果発表会)</p>  <p>(報告イメージ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="451 1541 869 1736"> <p>柏市の子育て支援施設を利用したいと思いますか？</p>  <p>1. 分からない(82%) 2. いいえ(12%) 3. はい(6%)</p> </div> <div data-bbox="869 1541 1286 1736"> <p>子育てをする際の不安点は、どのようなものですか？</p>  <p>1) 経済的問題(89.6%) 2) 環境的問題(41.7%) 3) 子育ての仕方(39.6%) 4) 体力(4.2%) 5) その他(2.1%)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="451 1758 869 1975"> <p>提案1 子育て世代の地域コミュニティ活性化プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経塚ごとの「子育てサロン」や「子育て交流会」の開催をサポートし、「親同士のネットワーク作り」を促進。 ・ 「子どもを預けられない場合」でも、参加できるようなイベントや、子どもと一緒に楽しめる多岐にわたる催しを開催。 ・ 孤立しがちな子育て世代の「精神的な支え」となるように、地域全体で育後をサポートする体制の構築。  </div> <div data-bbox="869 1758 1286 1975"> <p>提案2 オンライン育児支援サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のデジタル活用を促進して、育児の相談やサポートをオンラインで提供する等、拡大を図る。 ・ 例えば、子育て経験や専門知識による「他者のオンライン相談サービス」を積極的、育児に悩む若年層や育児に迅速に対応できる人材を育成。 ・ 忙しい親たちが手軽にアドバイスを得ることができ、育児のストレスを軽減。  </div> </div>

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	市史刊行物の活用について			
連携先 企業名・部局名	柏市教育委員会生涯学習部文化課市史編さん担当			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	砂川 琉悳	7	
	2	高木 千夏	8	
	3	金子 怜央	9	
	4	栗原 大空	10	
	5	合田 優悟	11	
	6	鈴木 悠斗	12	
担当教員名	櫻井 良樹			
活動スケジュール 概要	10/16 顔合わせ 11/06 市役所訪問 11/13 プレーンストーンミング 11/27 提案検討 12/04 Arioと道の駅しょうなん現地視察 11/18 01/08 01/15 01/22 提案検討 02/03 02/05 まとめ作業			
テーマ概要	市史刊行物の活用策について、市としてどのような方策が考えられるか。今後、市が目標とする「市史」に興味や関心をもってもらい、そこから自らの生活する地域固有の歴史文化を掘り起こし継承につなげていくという目的を推進するための方策を考えて提案する。			
調査内容	テーマに沿い、販売促進につながる企画を考えた。刊行物の内容や形式なども議論になったが、デジタル・スタンプラリーと結びつけるという方向で調査していくことになった。まず書店の調査で、沼南地区のArio 柏を訪問したところ、ちょうど地域の暦を扱う本の販売と予約の広告が掲示され、コーナーも設けられていた。ついで道の駅沼南を訪ね、本をおくことができるか見学した。そこで手賀沼スタンプラリーが実施されていることや、サイクリングロードを見た。その後は、分担して実施の具体化について Zoom および対面で相談を進めた。			
先方への 提案内容	若者から高齢者まで、幅広い年齢層に対して歴史に触れる機会を提供することを通じて、市史刊行物への興味を広げる。そのためにデジタル・スタンプラリーのコースを、徒歩、サイクリング、バス利用など複数の方法を使って行う。そのコースと、一日乗車券の利用や GPS によるチェック・ポイントの確認などの方法が利用できることを提案した。刊行物については、Ario 柏を目的地としたコースなどで、景品や書店で使える割引クーポンの発行などによって販売につなげていくことを提案した。			
連携先からの フィードバック	市史の活用ということは、売るだけではなく、広く捉えることができると思うが、デジタルによるスタンプラリーに活用するという方向での提案と理解した。対象別の色々なコースが提案されていて良かった。			
所感・まとめ	この学習を通して柏市の魅力や、柏市に残る昔ながらの建物などの歴史を深く知れて楽しかったとともに、貴重な経験をしました。テーマを調べてうちに、色々			

	<p>な歴史の建物があることを知り、自分も近いうちに行きたいと身に染みて感じるとともに、もっと自分の知識や技術等を増やし、磨いて人にアピール出来るようにしたいと思った。私達の考えた企画が、柏市民や地元が柏市でない人により柏市の魅力を伝え、市へ興味を持ってもらえるきっかけになれば良いと思います。みんなで協力してひとつのプロジェクトを企画していくのが良い経験になりました。スライドに合わせて10分間にスピーチをまとめるのに苦労しました。本番の発表は上手くいったと思います。</p>
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	

2024 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	自然環境と生物多様性の保全について			
連携先 企業名・部局名	柏市環境政策課 NPO 法人下田の杜里山フォーラム			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	栗谷 はるな	7	大浦 美礼奈
	2	鎌田 智夢	8	
	3	千脇 由也	9	
	4	野原 滉平	10	
	5	森島 健汰	11	
	6	磯野 由希愛	12	
担当教員名	土田 尚弘			
活動スケジュール 概要	毎週火曜日昼休みに打ち合わせ（計 14 回） 10/22 顔合わせ 11/15 柏市環境政策課へのヒアリング 12/22 下田の杜里山フォーラムへの活動参加、ヒアリング 2/9 下田の杜里山フォーラムへの活動参加、提案のプレゼンテーション			
テーマ概要	柏市は様々な NPO と協力して、環境保全の推進を行っている。しかしながら、多くの NPO で高齢化など組織の持続可能性に課題を抱えている。本ゼミナールでは、下田の杜里山フォーラムにそれを解決するための提案を行った。			
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市の環境 NPO と課題について ・下田の杜の課題について ・環境 NPO の SNS について 			
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ①インターネット、SNS の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・下田の杜里山フォーラム公式 Instagram の開設 ②体験型プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・一般向け農業体験 ・落ち葉で森のどうぶつを作るワークショップ ・下田の杜の歴史学習会 ・下田の杜の動物と自然の観察会と、撮影写真の製本化 ・インスタと連携した生き物観察会 ・地域の自然環境と問題、保全方法について考える ・来訪者の撮影写真・動画を公式 SNS で発信 			
連携先からの フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ①柏市環境政策課様より <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足が大きな課題だった。 ・コンセプトなど緻密に考えられていたのが参考になった。 ②下田の杜里山フォーラム様より <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 担当者が辞めてしまった上にアカウントのパスワードを引き継げなかったこと、広報の人手不足、またメンバーの私生活との両立の難しさから SNS 運用が止まってしまっていたので、是非活動を進めて欲しい。しかし、最初勢いがあった 			

	<p>としても、その勢いをどこまで保てるのかというのが懸念点。また、学生さんが運営するのは簡単かもしれないが下田の杜のメンバーが運営するのは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生との交流のイベントにもスポットを置きたい。 ・今までできなかったことについて提案してもらった。これからの活動で、会員の高齢化の対処方法として大学生の協力があれば嬉しい。
<p>所感・まとめ</p>	<p>今回具体的な物としての成果を挙げることはできなかった。期間内に開設運用に至らなかった要因は、日程調整が難しくヒアリングなどの初動が遅れてしまったことが挙げられる。</p> <p>しかし、活動がひと段落ついた今「急いでプロジェクトを進めなくて良かった」と感じている。</p> <p>活動初期に比べれば活動への参加や参加者の方からお話を聞くことで、下田の杜里山フォーラムの魅力を知ることができたが、同時にこれは氷山の一角に過ぎないなとも思う。これは、活動に参加した際「里山は四季に合わせて魅せる表情が違うものだ」と聞いたからだ。より効果的に「魅力を発信する」ためには、よく知らないままに情報発信を始めるのではなく、参加者の気持ちやその場の魅力を理解することに時間をかけるべきだと考えた。</p> <p>今後、春 Semester の自主企画ゼミで Instagram アカウントの開設と初期運用のサポートやその他のイベント・プログラムの提案内容を実行に移す活動を行う。その際には、期間内に目標達成を目指すということはもちろんのこと、急がずに時間をかけるべき部分の見極めも大切にしていきたい。</p>
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>上段 2 枚：2/9 活動参加時の野馬土手 落ち葉掃除</p> <p>下段：12/22 活動参加時に出示いただいた手作り干し柿</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>実際に現場を訪れることで、自然環境以外にも保全すべき地域の魅力があることを知った。そのことも SNS で発信していきたい。</p>

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	カフェ経営を体験する。
連携先	que_tal_um_cafezinho
グループメンバー (フルネーム)	<p> ■チーム：ライスクレープ 木村司、寺島暁、今村昇之介、立原博海 高野友梨乃、Fernandez Cely Lirzy Uriel </p> <p> ■チーム：タリーズ 齋藤岳志 保住啓太 内埜雄太 内海太誠 望月洗希 上原翔 小里颯大 菅谷健匠 松村琉聖 </p> <p> ■チーム：ネロソムニス 山崎 大輝、米本 帆希、田川 莉帆 藤森ほのか、松田ひなた、中根凜乙、神田彩芭 石塚 幹陽、浜崎 千雪 </p> <p> ■チーム：らぶらぶ! ラブタイ・パトリック 大塚海里 深野燐太 深谷康羽 大迫優輝 鵜巢力丸 内山耕太 </p> <p> ■チーム：スタバ 古本 愛莉、羅 優香、今野 沙智 </p> <p> ■チーム：あやち 竹埜未海 金子弥生 野崎綾音 高橋千尋 福田乃愛 岡野沙羅 大竹くるみ 吹附結菜 鈴木乃愛 </p>
担当教員名	吉田健一郎・下田健人
活動スケジュール 概要	2024年10月 チーム結成、店舗訪問、メニュー考案 2024年11月 メニュー開発、試作、各自でマーケティング 2024年12月 売上バトル 2025年1月 レビュー
テーマ概要	<p> 「学内販売会における売上バトルで勝て」 チームで店主の井部さんと打ち合わせを行い、追加する特別メニューを考える。 </p> <p> ■まずは、次の3点を重視しましょう。 </p>

品質 (味)

香り

見た目の良さ

■今回の市場には、多くの学生と少数の教職員がいます。誰をターゲットとするかを決めましょう。広くとるか、狭くとるかはチーム内で話し合ってください。

■競合を考えましょう。

学食のメニュー

キッチンカーのメニュー

コンビニの商品

■今回、学生の皆さんには制約があります。

ブラジルスタイル

500円で販売できる原料

先方への
提案内容



2024
12.10
12:20-

Cafezinho? × 麗澤大学
オリジナル商品の販売!

2024
12.10
12:20-

Food Menu
サンドウィッチ 500 yen

Place
i floor



ライスクレープ
TEAM
限定コラボ

麗澤大学の仲間たち、ブラジルカフェ。超うまい味!

500円

12月11日限定、IFLOORで待ってるよ!

12:20AM - 13:00AM

フォローしてくれたらサ
プライズもあるよ!

1日だけのスペシャルチャンス!
一緒に楽しみましょう!

12/16
月曜
12:20-

reitaku
special
lunch

特別企画
カフェジニョ
さんのコラボ
商品販売!

販売場所
i floor

Menu
ブラジリアン
サンドウィッチ

ボリューム満点の学生向け
のサンドウィッチです!
お昼送ってさああなた
心もおなかも満たしませんか?

¥500(税込)

Welcome

日時 12月17日
時間 三限終了時
場所 あすなろ 1F
二階

私たちがグループ「FLOOR」では、ブラジルカフェを
コンセプトにブラジルが産地の1つであるカボチャを
主軸にし、おりに仕上げたパンと心地よい熱湯のス
ープをお楽しみください。カボチャという食材には、栄養が
豊富ですが、そこに塩分を含んだパンと合わせることで、
味のスープが料理の一つです。ぜひ、味わってください!

濃厚な香りと味が特
徴のカボチャスープを
用意して待っていま
す!

お昼時
スープがおい
しくてなんと2階
まで!

持ち運びも便利な
ので商品を購入後
様々な場所で食べ
ていただけます!

	
<p>連携先からの フィードバック</p>	<p>6日間のイベント、本当に楽しかった♥ 学生さん、先生方や職員の方々、本当にありがとうございました♪ また店でも皆様とお会いできる様に魅力的なメニューを作ってお待ちしております。 Muito obrigada!</p>

大学 Web に掲載いただきました。
[麗澤・地域連携実習『麗澤大学近くのカフェ経営』学生が企画したカフェメニューが商品化に！](https://www.reitaku-u.ac.jp/news/other/1777650/)



<https://www.reitaku-u.ac.jp/news/other/1777650/>

■チーム：ライスクレープ

木村司、寺島暁、今村昇之介、立原博海
高野友梨乃、Fernandez Cely Lirzy Uriel

新しいメニューの開発において最も重視した点は、私たち自身が好きな食材を選んだことです。また、よりブラジルらしい味を追求し、それを実現できたと感じています。このプロジェクトは、グループのメンバーと一緒に楽しく、そしてとても美味しい体験を共有することができました。



商品名

オリジナル商品：「ブラジルの幸せサンド」

ターゲット顧客

主な顧客：リタク大学の学生と教授

仕入れ数量

仕入れた数量：30個のサンドイッチ

販売結果

すべてのユニットを販売完了

粗利益： $¥265 \times 25 = ¥6625$ 円



頑張ったこと、学んだこと

私たちは、他のグループと比較して販売の見通しが不確かだったため、初めに30個のサンドイッチを準備することを決定しました。私たちのグループは全体で最も多くのメンバーを抱えており、販売目標を達成できるかどうかについて不安がありました。

しかし、最終的には30個すべてのサンドイッチを販売し、購入者からは「味が非常においしい」との高い評価をいただきました。この成果は、私たちの綿密な準備と商品の魅力が顧客に受け入れられたことの証だと感じており、大変励みになりました。

この経験を通じて、販売計画の重要性と、チーム内での協力が成功に繋がることを実感しました。また、顧客からのフィードバックが非常に価値のあるものであることを再認識し、今後のプロジェクトにおいて、より一層顧客満足度を重視した取り組みを行いたいと考えています。

ライスクレープ - Presentation

■チーム：タリーズ

齋藤岳志 保住啓太 内埜雄太 内海太誠 望月洸希
上原翔 小里颯大 菅谷健匠 松村琉聖

私たちが新規メニュー開発において最も重視したのは…健康面です！



商品名: カーニロッカ

ターゲット顧客: 学生課の職員など

販売個数: 25個



仕入数「25」を全て販売することができ、私たちの粗利益は「7275円」でした。



今回の集中講義を通して、実際に商品売ることの難しさと楽しさを学ぶことが出来ました。

もう一度このような機会があったら、さらに工夫をして、今回の記録を超えたいです。

■チーム：ネロソムニス

山崎 大輝、米本 帆希、田川 莉帆
藤森ほのか、松田ひなた、中根凜乙、神田彩芭
石塚 幹陽、浜崎 千雪

私たちが新規メニュー開発において最も重視したのは・・・



濃厚な香りと味が特徴のカボチャスープを用意して待っています！

お値段
スープとパンが付いてきてなんと300円！

持ち運びも便利なので商品を購入後様々な場所で食べていただけます！

日時 12月17日(木)
時間 二限終了時～
場所 あすなろ 11階
二階

私たちのグループ「ネロソムニス」では、ブラジルカフェをコンセプトにブラジルが原産地の1つであるカボチャを主軸にし、あじかりに仕上げたパンとの相性抜群なスープを考案しました！カボチャという馴染みのある食材ですが、そこに鶏肉や生クリームなどを使った濃い味のスープが特徴の一つです！ぜひ、味わってみてください！

メニュー特徴:お店にもないメニュー且つ野菜嫌いでも食べやすい商品

メインのターゲット顧客:1.2年生やあすなろの先生

仕入れ数:45コ



仕入数「45コ」を全て販売することができ、私たちの粗利益は「9045円」でした。



- ・売上金額を意識して個数を高めに設定し、広報活動を頑張った。
- ・味、彩、材料費、販売日や場所などターゲット層に合わせて決めることが出来た。
- ・ターゲット層があらかじめわかっていたのでメニューや彩りは決めやすかったが、自由に決められるとしたらまたほかの商品ができそうだなと思ったのと同時に難易度は格段に上がりそうだなと思った。

■チーム：らぶらぶ!

ラブタイ・パトリック 大塚海里 深野奨太
深谷康羽 大迫優輝 鴫巣力丸 内山耕太

私たちが新規メニュー開発において最も重視したのは 学生が喜ぶ満腹感！！



メニュー名:ブラジリアンサンドウィッチ

特徴:緑などの色どりにこだわるのではなくボリュームと味で勝負!

メインターゲット:学生、先生

仕入れ数:30個



仕入数「30個」を全て販売することができ、私たちの粗利益は「229円」でした。



客を呼ぶために入り口や階段でチラシを配り興味を持たせた
サンドウィッチを購入したうえで、公式インスタをフォローしてくれたら「ブリガデーロ」というブラジリアンチョコを特典として配っていた
特典があることをもっと宣伝していたら顧客や仕入れ数をもっと増やせたかもしれない

■チーム：スタバ

古本 愛莉、羅 優香、今野 沙智

私たちが新規メニュー開発において最も重視したのは…季節に合った料理提供をすること



名前: White Chicken Soup

特徴: カリカリでくちどけの良いガーリックパンを優しい味の鶏ガラスープにつける

メインのターゲット顧客: 学生

仕入れ数: 30個

R
Ritsumei
University



仕入数「30個」を全て販売することができ、私たちの粗利益は「7620円」でした。



R
Ritsumei
University



万人受けするメニューを考えるのが難しかったのでカフェの人と相談し季節に合わせたメニュー開発ができた。また、何かを一から企画して販売するという経験が初めてだったので売り上げを気にした材料選びや赤字を避けるための程よい個数設定をチームで話し合うことができた。販売会後に思ったこととしては、思ったより早く売り切れたので、個数設定を高めに設定していれば売り上げを伸ばすことができたなと感じた。

■チーム：あやち

竹埜未海 金子弥生 野崎綾音 高橋千尋 福田乃愛 岡野沙羅 大竹くるみ 吹附結菜 鈴木乃愛

私たちが新規メニュー開発において最も重視したのは・・・



牛肉と豚肉をたっぷり使用したハンバーガー風サンドイッチ

ターゲット顧客: 外国語学科の先生方、男子、一年生(食べる量が多い人たち)

販売数40個



仕入数「40」を全て販売することができ、私たちの粗利益は「8600円」でした。



まずは、40個全て売り切ることができてよかったと思います。チームで協力できたことも満足です。牛肉を使ったことで原価率が高くなっていたので、鶏肉を使って少し安くしていたらもっと売り上げることができたのかなと思いました。

仲間との協力や案を出し合ってやり遂げる大切さを学びました。

私たちや買ってくださった方々は、ブラジル料理を食べたことがない人が多かったです。そのため、食べやすいけれどブラジル料理の特徴も消さないような努力をして行きました。

主な材料である肉をお店と同じ牛肉にしまうと原価が高くなって利益が下がってしまったり、そもそも野菜が高騰していたりしたので、まずコストを考え、それをメンバーと共有して意見を話し合うのが大変でした。食べ応え・おいさと利益のバランスも難しかったと思います。

今回はあまり話したことがない人がグループに多かったのが不安でしたが、使う肉の問題や仕入れ数などはその人達の意見にすごく助けられて成功しました。自分はその意見に自信がなく、自分にとっては新しい意見だったとしてもそれを信じてみるのは悪くないなと今回感じました。




Shinshu University



24

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	柏市の公共交通空白地域			
連携先 企業名・部局名	柏市 交通政策課			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの氏名を記入ください。	1	下村夏穂		
	2	佐藤愛		
	3	吉川愛優香		
	4	佐々木幹太		
担当教員名	大越 利之			
活動スケジュール 概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 月曜4限(Q3)：定期MTG@さつき ● 木曜3限(Q4)：定期MTG@あすなろ ● 10月16日：キックオフ・ミーティング ● 11月27日：増尾地域に取材活動 ● 11月28日：酒井根地域に取材活動 ● 12月12日：柏ビレジ地域に取材活動 ● 12月20日：逆井地域に取材活動 ● 1月28日：プレゼンテーション@柏市役所 			
テーマ概要	<p>柏市の公共交通空白地域の不便を解消する</p> <p>※ただし、以下の提案は行わない：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存の交通事業者の利益を損なうもの ● 既存のタクシーやバスの増便や路線の拡張 ● 自動運転車の導入 			
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行事例の調査： 横浜市内の地域貢献バス（横浜市×地元スーパー）の運用状況を調査 ● 調査対象エリアの選定および現地調査： 各公共交通空白エリアのバスの本数を調査し、また柏市全体の地図を基によりアクセスの悪いエリアを抽出し、調査エリアとして選定（東急柏ビレジエリア）。 			
先方への 提案内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 柏市と柏たなか病院の提携による無料送迎バスの有効活用 既存の病院送迎バスの空席を活用し、公共交通空白地域の住民の移動手段とする。 2 新規ルートの設定 			

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 柏たなか病院～ビレッジ公園ルートを活用 ➤ 東急ビレッジコースおよび北柏駅北口コースの運行 <p>3 KASUMI との連携による移動スーパーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在の移動スーパーをバス型に変更し、移動販売と公共交通を兼ねる。 ➤ 買い物が困難な高齢者を支援する。 <p>4 実施上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 新規路線導入には大きな初期投資（バス購入費用など）が必要となる。 ➤ 病院送迎バスの活用については、利用者の心理的負担（病気感染の懸念）への対応が求められる。
<p style="text-align: center;">連携先からの フィードバック</p>	<p>1 課題：</p> <p>「病気がうつるのではないか」という懸念を持つ住民が多い。病院送迎バスの活用にあたっては、感染対策や利用者の安心感を高める工夫が必要。</p> <p>2 評価：</p> <p>1年生とは思えないほど、調査内容がよく整理されており、完成度が高い。</p>
<p style="text-align: center;">所感・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域連携実習を通して、多くの人々と関わることができ、貴重な経験となった。 ● これまで交通に関心がなかったが、調査を進めるうちに課題の重要性を実感し、深く興味を持つようになった。 ● 今後も地域の交通問題に関心を持ち、より実現可能な提案を検討していきたい。
<p style="text-align: center;">その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p style="text-align: center;">柏ビレッジ地域の取材活動の写真</p>  <p style="text-align: center;">増尾地域の取材活動</p> </div>

2024 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	7. ホテル・ザ・ルクソー南柏の利用客を増やそう 8-1			
連携先 企業名・部局名	グランパークホテル ザ・ルクソー南柏			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	二宮 溪華	7	松本 康太郎
	2	芦澤 龍紀	8	
	3	藤木 笑	9	
	4	青木 涼一	10	
	5	大竹 星輝	11	
	6	金澤 珠美	12	
担当教員名	遠藤 寛士			
活動スケジュール 概要	2024 年 10 月 チーム結成、企業訪問、アイデア出し 2024 年 11 月 協力企業探索・訪問、オリジナルグッズ考案 2024 年 12 月 企業 2 社の引き合わせ、オリジナルグッズ追加案の考案 2025 年 1 月 報告資料作成・準備			
テーマ概要	宿泊者を魅了する新たな取り組み ～オリジナルグッズの作成～			
調査内容	ルクソー南柏へのヒアリング調査（2 回） 協力企業へのヒアリング調査（1 回） 2 社の引き合わせ・ミーティング（1 回） オリジナルグッズの制作に関する文献調査			
先方への 提案内容	ヴィーガンレザーを用いたオリジナルグッズ制作の提案 ・ピーナッツレザーを用いたキーケース ・お茶のヴィーガンレザーを用いたアメニティバッグ ・竹のヴィーガンレザーを用いたスリッパ ・アップルレザーを用いた革小物（財布・キーホルダーなど）			
連携先からの フィードバック	<p>プロジェクトの背景と目的が明確に説明されており、SDG's においても有効的な取り組みでした。</p> <p>ミーティング中もチームワークの良さが感じられましたが、成果報告の資料は今後の参考にさせていただきます。</p> <p>今回のプロジェクトにあたって私が真っ先にお伺いした懸念点はアレルギーについてですが、資料にあるお茶やりんごよりもピーナッツの方が、アレルギーを持つ方が多いようなイメージがあります。あらゆるお客様のご利用があるホテルにおいては安全性が重視されるため、日本人のピーナッツアレルギーの割合など参考になるデータがあると受け入れ態勢のハードルが少し低くなるように思いました。</p> <p>企業と企業を結びながら一つの目的に添ってアクションプランを立てることは容易ではありません。構成がしっかりしており、全体的にとても充実している内容でした。</p> <p>今回の成果を基に更なる取り組みにも期待します。</p>			

<p>所感・まとめ</p>	<p>今回の活動を通して、オリジナルグッズ制作の提案をするにあたり、コスト面や技術面など様々な視点から考えなければならないことがわかり、グッズ作成を実現することの難しさを学ぶことが出来ました。</p> <p>ホテルにとってプラスになるように考えることや実際に提案したことがうまくいかないことなどの経験を通してビジネスの難しさを実感しました。</p>
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<p>【報告用資料】 「宿泊者を魅了する新たな取り組み～オリジナルグッズの作成～」</p>

2024 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	8. ホテル・ザ・ルクソー南柏の利用客を増やそう 6-2			
連携先 企業名・部局名	グランパークホテルザ・ルクソー南柏 株式会社ミドルウッド MiddleWood Hotel & Resort			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	木下心克	7	桶谷菜里
	2	矢野和希	8	岡村渚咲
	3	盛田小想	9	渡邊ななみ
	4	茂木華那	10	
	5	大場穂花	11	
	6	瀬島美咲	12	
担当教員名	籠義樹 教授			
活動スケジュール 概要	期間中毎週月曜日の昼休みにミーティング 10/14 初回全体ミーティング 10/21 籠チーム初回全体ミーティング 11/6 ヒアリング調査 in ルクソー南柏 12/7 深澤様と対面ミーティング 1/22 ルクソー南柏に成果報告 2/17 全体結果報告会			
テーマ概要	ホテルのレストランをお借りして麗澤生が何かイベントを企画できるか。			
調査内容	イベントを実行するにあたっての企画案作成			
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクソー南柏でのインターンシップ ・麗澤の HP にホテルの案内（リンク）を定期的に掲示（受験期、入学式など） ・WEB サイトにホテルのリンクを定期的に掲載すること ・長期滞在の外国人向けのイベント企画 			
連携先からの フィードバック	作成した企画は、ホテルや会社に良い影響を与えてくれた。 全体的に賞賛して下さった。			
所感・まとめ	<p>十分な集客が出来ず、また、日程も変更できなかったため、やむを得ず中止という結果に至った。</p> <p>しかし、ルクソー様からはアイデアに関してお褒めの言葉をいただいた。 ホテルに対してメリットのあるアイデアを提供することが出来た。</p>			
その他 成果物・画像等 *添付も可				

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	8. ホテル・ザ・ルクソー南柏の利用客を増やそう 8-2			
連携先 企業名・部局名	グランパークホテル ザ・ルクソー南柏			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	加地 柚葉	7	白戸 咲良
	2	トラスク ウェイブリー 菜海	8	清川 健太
	3	菅 杏乃	9	久保 劉太郎
	4	阿部 南	10	鈴木 乃愛
	5	江口 麗央奈	11	
	6	櫻井 紗弥	12	
担当教員名	遠藤 寛士			
活動スケジュール 概要	2024年10月 チーム結成、企業訪問、アイデア出し 2024年11月 提案の骨子考案、市場調査、文献調査 2024年12月 市場調査、文献調査、報告資料作成 2025年1月 報告資料作成・報告準備			
テーマ概要	推し活お泊りプラン ～非日常の空間で推しに染まるプランのご提案～			
調査内容	ルクソー南柏へのヒアリング調査（1回） 文献調査：推し活市場の概況、推し活の社会的影響、推し活の事例 参考資料の提供依頼：発表者知人に対する1次資料提供を実現			
先方への 提案内容	推し活をコンセプトとするコンセプトルームならびに宿泊プランの提案 ・若い層の利用促進 ・推し活の概要・市場概況などの説明 ・推し活ルーム（コンセプトルーム）の仕様 ・貸し出しサービス ・オプションサービス（デコレーションケーキ） ・宿泊プラン（価格帯別） ・売上予測 ・マーケティング戦略 -ターゲット層：10代～30代女性2人組、ファミリー層、カップル層 -ポジショニング：ラグジュアリー×カスタマイズ -4P			
連携先からの フィードバック	稼働が低いコンセプトルームの改変として、こちらのチームのアイデアは非常に斬新で魅力的でした。ミドルウッドグループの系列ホテルではまだ取り組みのない推し活向けプランというアプローチは興味深く、新しい価値を提供出来る可能性を感じます。 一方で料金形態がやや不明確であり、若年層へ向けたプランにしては割高のようです。オプションにおいても有料としたところでホテル側が提供する内容がどこまでなのか分かりにくく、これらの手配をホテル側で行うことは現実的ではありません			

	<p>ん。</p> <p>「推し活が与える社会への影響について」は興味のある人へ積極的に誘致するためにももう少し詳細データや根拠を示していただけると説得力が増すように思いました。</p> <p>需要がある事は認知されつつある推し活ですので、いただいたプラン案は今後の新規プラン販売においても大変参考になります。アレンジを加え現地に添った内容にすれば人気のプランになりそうですが、特にオプションのかわいいルームウェアは若い女性やカップルに喜ばれることと思いますので是非早速採用したいところです。</p>
<p>所感・まとめ</p>	<p>スライド作成や今回のテーマを提案するにあたり、話し合いがまとまらず苦労したこともありましたが、集まる回数が増えていくにつれてチームワークを発揮でき、春休みを利用して練習を重ね、無事にスライドと提案内容を完成することができました。また、貸出プランやお泊りプランなどの独自のプランを提案し、より現実的な提案をあげることができました。</p> <p>発表については、緊張していたこともあり、完全な力は発揮できませんでした。無事に最後まで発表でき、その後の質疑応答でも柔軟に対応できたので、とてもよかったです。約四か月の短い間でしたが、他の学部との交流もでき、とても良い機会になりました。</p>
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<p>【報告用資料】</p> <p>「推し活お泊りプラン ~非日常の空間で推しに染まるプランのご提案~」</p>



2024 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	廃校再生プロジェクト：スポーツで地域の活性化（黒須グループ）			
連携先 企業名・部局名	（公財）モラロジー道德教育財団・淡海湖西生涯学習センター、一般社団法人麗澤校友会、麗大麗澤会			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの氏名を記入ください。	1	内田 実花	7	矢口 拓弥
	2	中村 風雅	8	齊藤 彩美
	3	広瀬 隆翔	9	坂本 飛夏
	4	福島 千晴	10	依知川 芽李
	5	矢島 七恵	11	北田 彩乃
	6	高橋 良介	12	西 唯仁
担当教員名	黒須 里美先生			
活動スケジュール 概要	<p>10月 PBL 活動とは、本プロジェクトの目的、ビジネスマナーなど</p> <p>11月 スポーツ×地域とは、ひろせフル第 1,2,3 弾について（先輩から） 「11/16 ひろせフル 3rd」に参加協力（滋賀県高島市訪問）</p> <p>12月 グループ分け、各グループ企画作成（教員・先輩と相談）</p> <p>1月 各グループ企画発表・フィードバック、企画の再考</p> <p>2月 「2/8 オンライン会議」（各グループ発表と連携団体フィードバック）、企画・提案のブラッシュアップ、プレゼン・報告書作成</p>			
テーマ概要	廃校（現・淡海湖湖西生涯学習センター）を利用し地域の活性化を図り地域に開かれた活動の提案をする。特にスポーツと健康を意識する。			
調査内容	<p>○現地訪問とイベント(11/16)参与観察：センターの周りは畑と数軒の住居のみ、コンビニまで歩いて 1 時間。多くの子どもたち、親子連れ、高齢者の方々が参加して下さった。→中高生の参加をより集めたい</p> <p>○滋賀県高島市についての調査：有名人物、物、歴史—継体天皇、中江藤樹、万葉歌碑など→高島市を「知る」プロセスへ</p>			
先方への 提案内容	<p>「ひろせ物語～新たな自分に出逢う三日間～」</p> <p>○概要：「スポーツ」を「<u>体を動かす・心の健康=世代を超えたコミュニケーション</u>」と捉え、2泊3日の体験型イベント：旧広瀬小・高島市という場所で参加者も広瀬小卒業生（近隣の住民）も新たな出逢いを得る。参加者は他者（人や歴史文化）との関わりの中で殻を破り、新たな「自分」の発見し、参加者と広瀬小卒業生での新たな「ひろせ物語」が創り上げられる。</p> <p>○目的：スポーツ＝体を動かす+心の健康を通じて、地域の健康と活力を高める地域創生を目的とする。高島市に初めて訪れる私たち（麗大生）も、高島市に住む若い世代（実際知らない歴史文化があるのでとは考え）が高島市について知り、地域の健康と活性化・世代間コミュニケーションの促進、高島市の文化的認</p>			

	<p>識の向上することが期待される。</p> <p>○内容 知る わかる 語る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校周辺を探索して高島市について知る（高島市を探索しながら知り、参加者同士でもお互いのことを知る） ・ 広瀬小卒業生に話を聞いてわかる（卒業生や地域住民の方との対話を通じて地域の文化や歴史、伝統を学ぶ） ・ 最後にみんなでわかったことについて語る（参加者が得た経験や発見をドキュメンタリー映像または演技として表現）
<p>連携先からの フィードバック</p>	<p>「若い柔軟な発想に大きな可能性を感じた」「とても良いコンセプトだ」との評価をいただき、高島市ゆかりの史実も教えていただいた。また、懸念していた高齢者宅訪問や小学生（特に安曇川小学校）との連携も実現の可能性が高く、具体的な展望が見えてきた。</p>
<p>所感・まとめ</p>	<p>11月に参加した「ひろせフル3rd」の経験や連携先からのフィードバックから、自分たちが高島市について深く知り、地域の健康と活性化両面の向上を目標に考えた。その結果、「知る・わかる・語る」を軸として、ドキュメンタリー映像やシナリオを作成し演技するといった手法で、自分たちと地域住民のコミュニケーションを促進させ、歴史ある高島市の安曇川地域を活性化させられるような「ひろせ物語」を創り上げる提案となった。これまでの活動で「学校」という場所でも地域間で全く違う生活があることを知り、話していくことで世代を超えて盛り上がりとても楽しかった。今後は実現に向けて連携先と協力しながら企画・内容の深掘りやチラシの作成を進めていく。そして高島市へ赴き、このイベントを通して様々な人とつながり、そこから活性化を促進できるように取り組んでいきたい。</p>
<p>その他</p> <p>成果物・画像等</p> <p>*添付も可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加活動報告書（参考）ひろせフル 3rd 報告書 20250208.pdf ・ 最終報告会プレゼンテーション資料 ・ ひろせフル 3rd 参加の様子（当日、リハーサル） ・ 企画考案の様子（グループミーティング、プレゼンテーション） 

2024年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	スポーツで地域を明るく元気に！！ ～旧広瀬小での全世代参加型運動会～			
連携先 企業名・部局名	淡海湖西生涯学習センター、麗澤校友会、麗大麗澤会			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダー の氏名を記入ください。	1	北浦義就	7	佐野勇太
	2	梶尾恭太郎	8	藤田琉星
	3	上林陸大	9	岩澤舟大
	4	佐藤千夏	10	藤田流星
	5	和田圭代	11	池上清仁
	6	中山清仁	12	涌井瑠奈
担当教員名	福田 誠			
活動スケジュール 概要	<p>12月後半-1月前半 グループ活動</p> <p>12月27日(金曜日)12時半から13時打合せ@B棟202号室福田研究室</p> <p>1月11日(土曜日)14時半から試合観戦@柏の葉公園総合競技場 NEC グリーンロケッツ(ラグビー)</p> <p>1月17日(金曜日)活動報告の提出 福田チェック</p> <p>1/23-24 各グループの活動報告と企画・提案</p> <p>1月25日(土曜日)高齢者向け筋トレ「懐メロ体操」の見学@麗しの杜</p> <p>1月後半～2月初め 企画・提案の検討</p> <p>2/8(土)10-12時 オンライン 各グループ発表と協力団体のフィードバック</p> <p>2月前半～中旬 フィードバックを受けて企画・提案のブラッシュアップ、報告書作成</p> <p>2/17(月)地域連携実習全体報告会</p> <p>2月22日(土曜日)高齢者向け筋トレ「懐メロ体操」の見学@麗しの杜</p>			
テーマ概要	廃校を活用して町おこしをしよう！			
調査内容	<p>ヒロセフル参加</p> <p>淡海湖西生涯学習センターの方とのオンライン成果報告会</p> <p>グループでのスポーツや地域とスポーツの関わりについてグループワーク</p>			
先方への 提案内容	大運動会(モルック、サバゲー、グランドゴルフ)			
連携先からの フィードバック	<p>・運動会</p> <p>→人と関わる感が重要</p> <p>→前にセンターのほうにもあった</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・10禁サバゲー →安全性○ ・バーチャル→テレビゲームの世界に行ける。常時開放して楽しめそう。 →フラッグハントという方がやっていた。(学校中全部使ってやってもよい) →やってみたいと思った。 ・グランドゴルフ →ひろせにもグランドゴルフのポイントを打っている。 ・全体的に →若い方中心に考えてあり、多くの人が京都へ行ってしまいうので良いと感じた。
<p>所感・まとめ</p>	<p>廃校の再生方法の一つとして広瀬フルというイベントに参加することで地域の方々と廃校の結びつきを知ることができた。ゼミでは次回の広瀬フルの活動内容を出し合った。様々な案が出る中、次のイベントではどんな旧広瀬小になるかとても楽しみだと思った。</p>
<p>その他 成果物・画像等 * 添付も可</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(活動の様子)</p>